

事例に学ぶ

DXの本質は
人を最大限に活かすことにあり

(株)三協

(株)三協は1968年、三洋電機(株)の外部倉庫管理会社として創業。現在は拠点9カ所、化粧品・雑貨・アパレル・薬品などを中心に物流アウトソーシング・コンサルティング・倉庫運営代行を行っている。

1990年代、主要取引先であった三洋電機(株)の業績悪化を受け、受注量が激減。当時、どんな仕事でも引き受け、容赦ない値下げ要請にも対応し、会社存続に躍起になっていた。そんな中、「無理な値下げをせ



▲山田専務

ず、当社を選んでもらうにはどうすれば良いか」と考え抜いた末に辿り着いた答えが「誤出荷ゼロ」であった。

「物流における品質とは、誤出荷をなくすことにあると考えました。お客様の様々な商品が日々弊社に運び込まれ、出ていく中、誤出荷ゼロを目指すためには、人の意識では限界があります。しかし、顧客毎に出荷ルールが違ったり、納品方法が違ったりと、多種多様な要求に対して作業者の熟練度と人海戦術で対応しているのが物流業界の現状です。その状況を打開するために、30年前から誤出荷ゼロを実現するための倉庫管理システムの構築を進めていました」と語るのは山田専務。

同社正社員50名の約20%は、倉庫管理システムを構築するための物

流専門のエンジニアである。そのエンジニア達が顧客から直接要望を受け、年300回以上のシステムのアップデートを繰り返している。

「コンビニやスーパーは、POSレジシステムを導入して、知識や経験が無くても誰でも業務にあたる事ができます。それと同様に弊社の物流管理システムもルール化された複雑な業務を画面に従って進めることで、誰でも簡単に作業ができ、作業の手順が違えば、アラームがなるように設定されています。その結果、5年前まで100名であったパートアルバイトが、現在では主婦層を中心に約250名に上り、更には家庭の事情で短時間しか働けない人も1時間単位で勤務できるなど、数多くの方々に働く場を提供できています」

同社には、これまで顧客から依頼を受けた膨大なカスタマイズ事例があり、その事例を標準機能とし、加えてオーダーメイドに対応する倉庫管理システム『SANTA』を開発。1年程前より卸売業及びEC向けに販売展開し、好評を得ている。「DXの本質は省人省力化ではな

く、作業を簡単にすることで生じた余力で、人にしか出来ないきめ細かな対応を図るなど、人の能力を最大限に活かすことにあります」と山田専務は語る。

EC物流のニーズが高まる今、同社の更なる飛躍を期待したい。



▲倉庫管理システム『SANTA』導入の打合せ風景

(株)三協
代表取締役 山田 孝治 氏
所在地 東大阪市今米 1-15-11
電話 072-967-6010
従業員 300人